②所沢市の
財政について



財務部　財政課

■本日のトピック

①令和７年度決算



②データから見る財政状況

■令和７年度　普通会計決算額

歳入　約　１，３９６　億円（Ｒ６：１，３８６億円）

歳出　約　１，３２１　億円（Ｒ６：１，３０４億円）

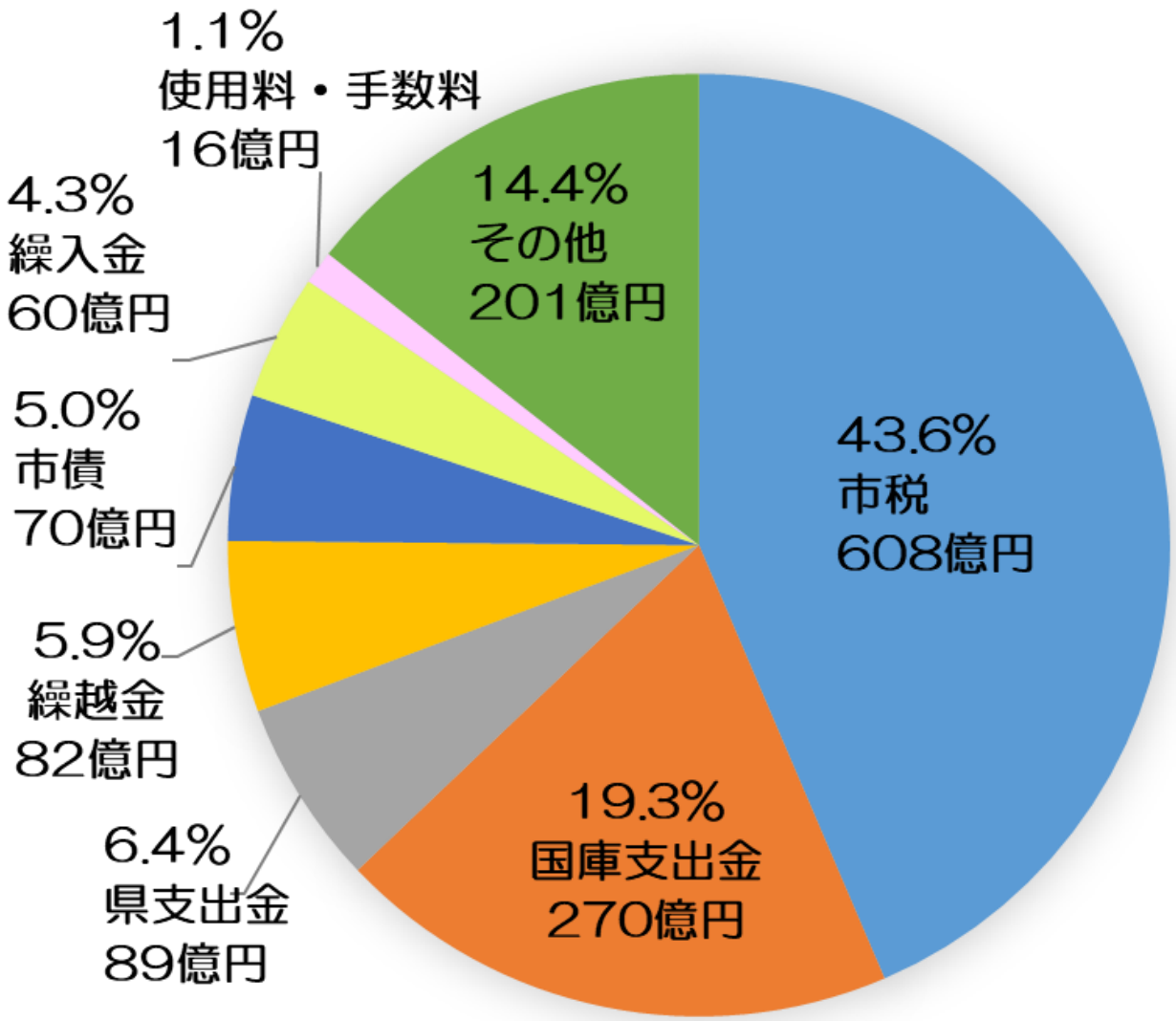


【普通会計】

- 全国共通の計算方法
- 上記の決算額の内訳

①一般会計（一部をのぞく）	約１，３０７億円
②狭山ヶ丘区画整理特別会計（一部）	約　　３億円
③所沢駅西口区画整理特別会計（一部）	約　　１１億円

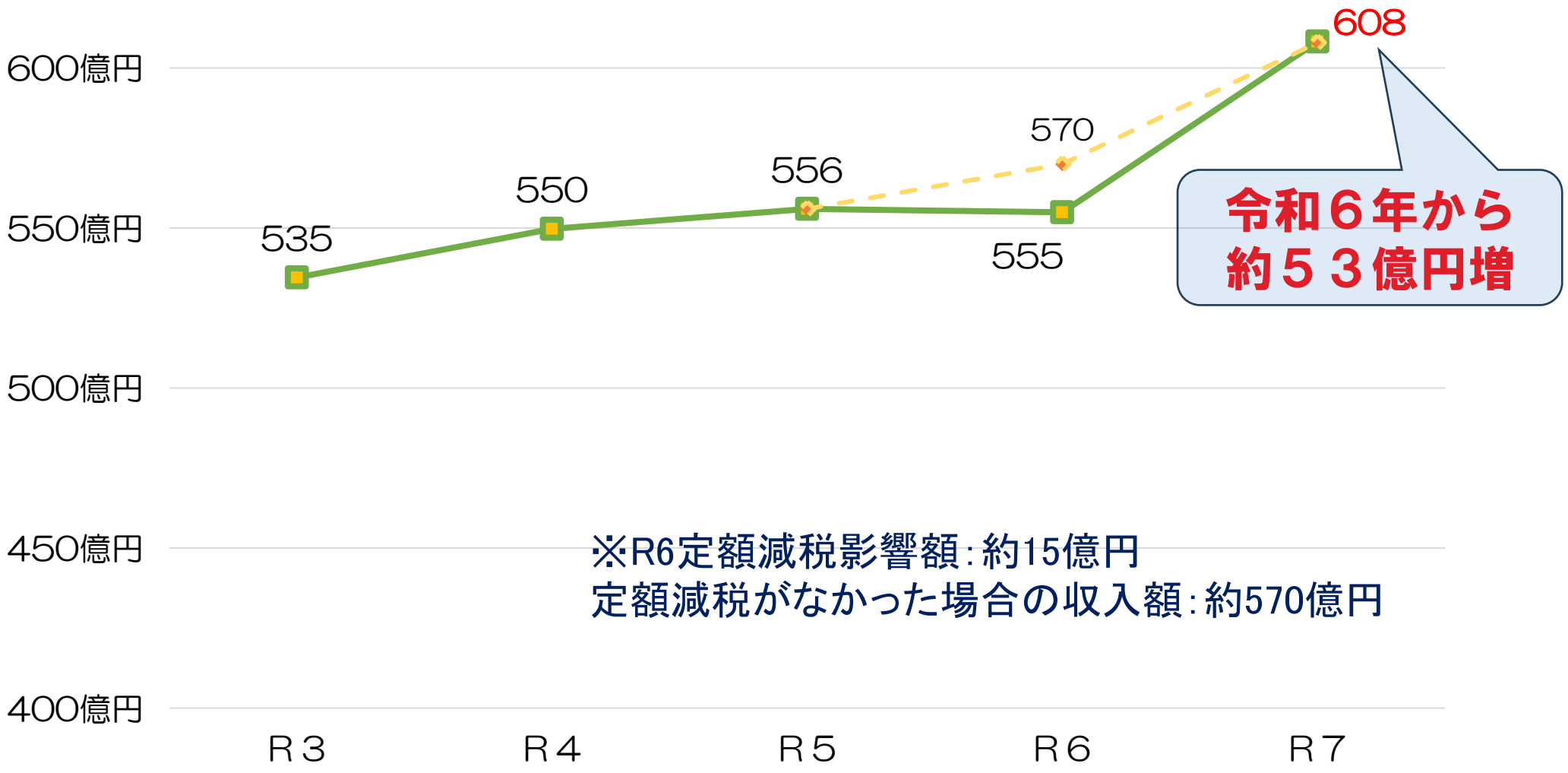
■令和７年度　歳入決算額



【総額】約１３９６億円

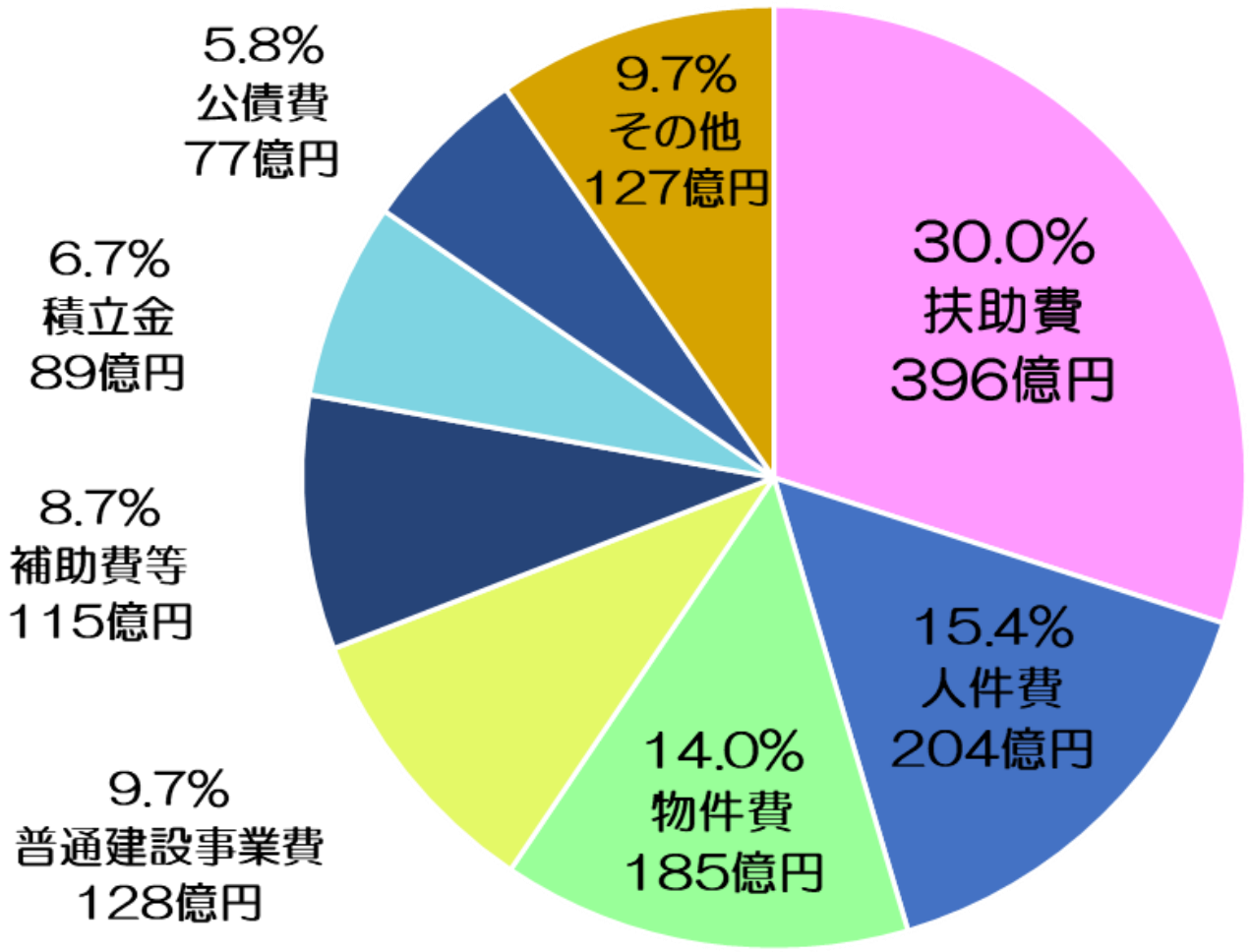
- 市税
- 国庫支出金
- 県支出金
- 繰越金　⇒前年度から繰り越してきたお金
- 市債　⇒銀行などから借り入れるお金
- 繰入金　⇒他会計や基金から入るお金
- 使用料・手数料
  ⇒公共施設やサービスの使用料など
- その他

■市税の推移


600億円
550億円
500億円
450億円
400億円
535
550
556
555
570
608
令和６年から
約５３億円増
※R6定額減税影響額：約15億円
定額減税がなかった場合の収入額：約570億円
R３
R４
R５
R６
R７

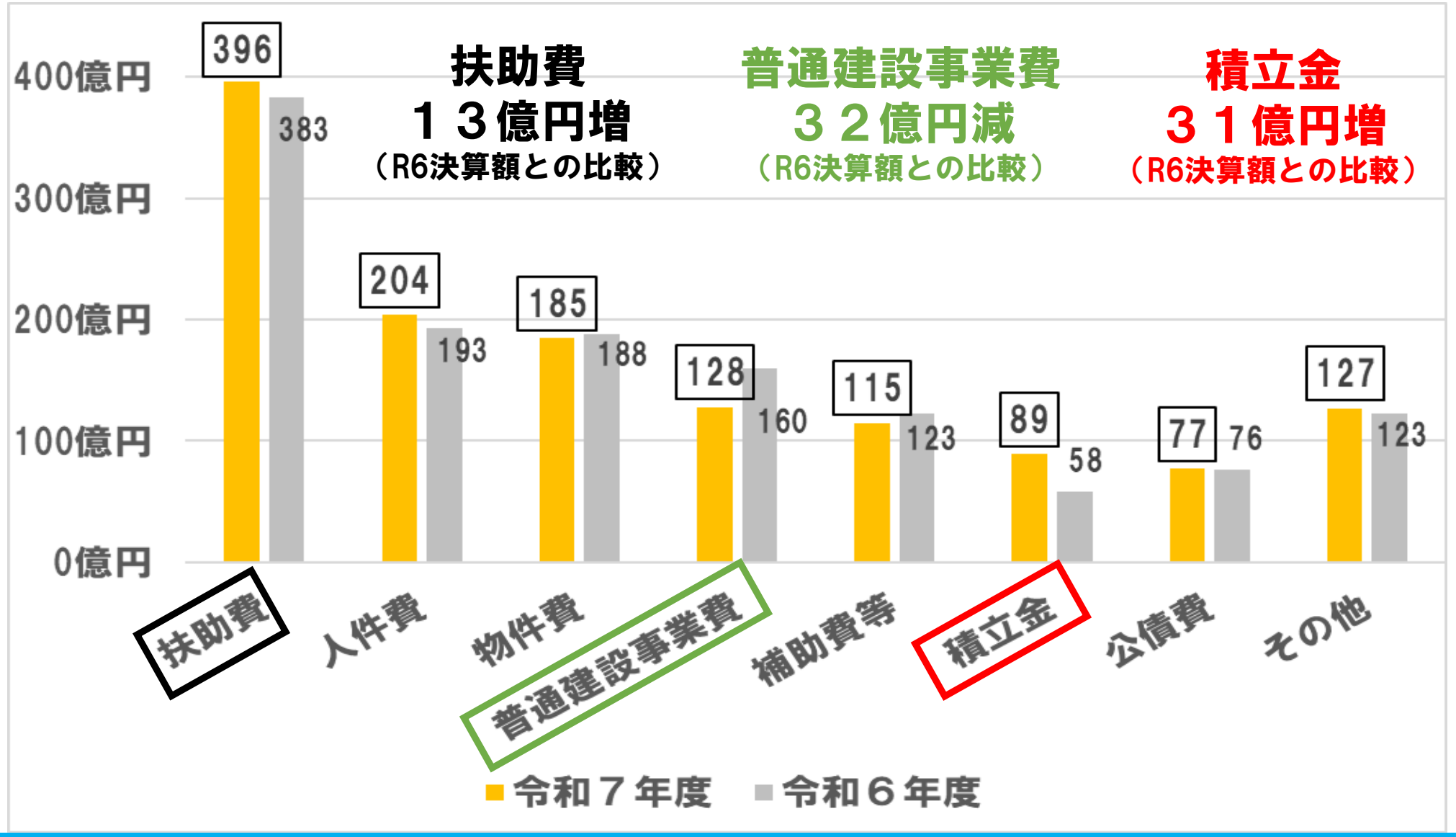
■令和７年度　歳出決算額

【総額】約１３２１億円



- 扶助費　⇒社会保障費など
- 人件費
- 物件費
- 普通建設事業費
- 補助費等　⇒団体や個人への補助
- 積立金　⇒各種基金への積立金
- 公債費　⇒借り入れたお金の返済
- その他

■歳出決算額（性質別）


扶助費
１３億円増
（R6決算額との比較）
普通建設事業費
３２億円減
（R6決算額との比較）
積立金
３１億円増
（R6決算額との比較）
400億円
300億円
200億円
100億円
0億円
396
383
204
193
185
188
128
160
115
123
89
58
77
76
127
123
扶助費
人件費
物件費
普通建設事業費
補助費等
積立金
公債費
その他
令和７年度
令和６年度

■本日のトピック

①令和７年度決算

②データから見る財政状況



■経常収支比率

経常的な支出÷経常的な収入（市税など）

数値が大きいほど、新たなことに使える財源の余裕がない

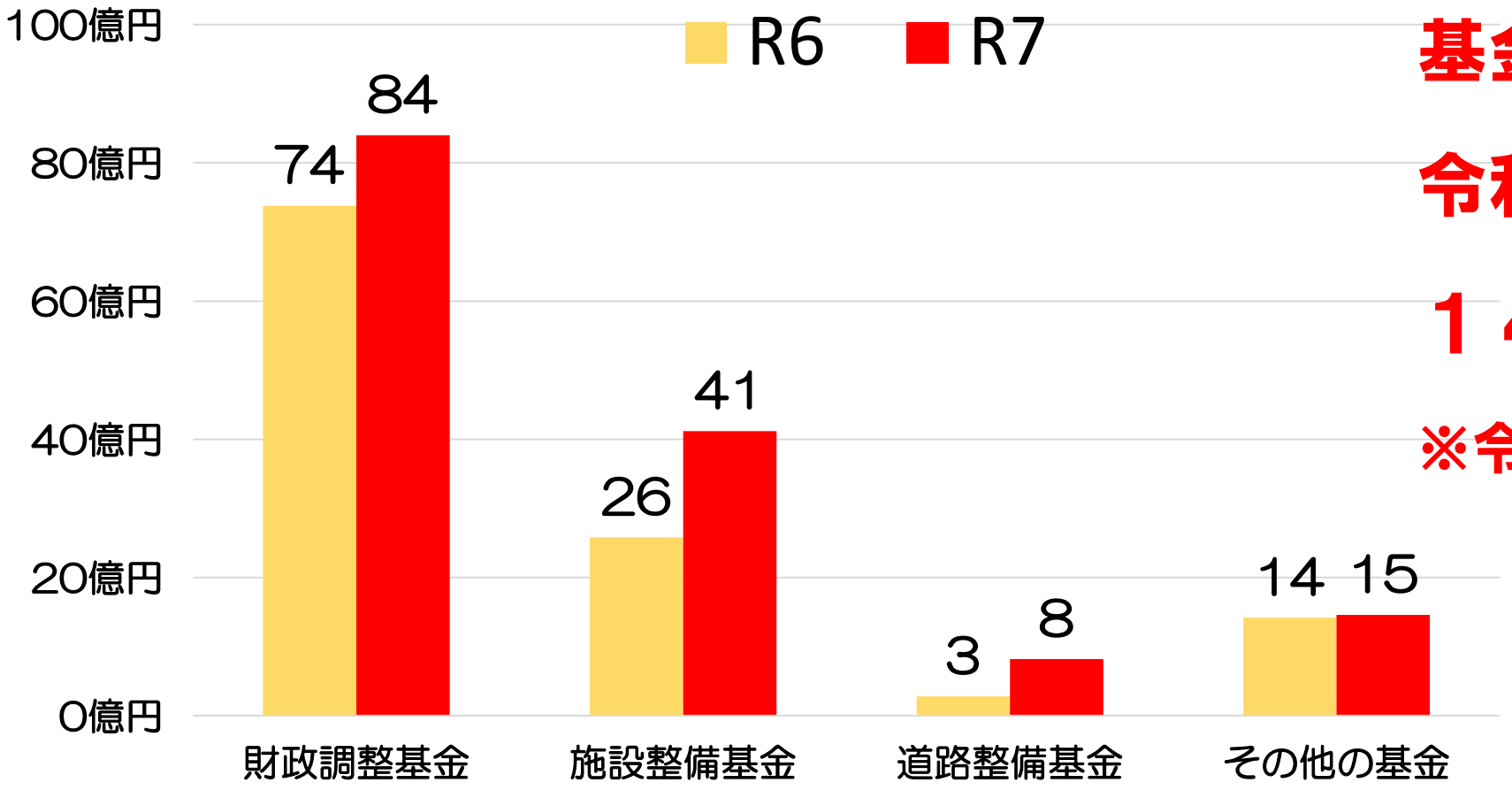
令和６年度は９５．５％（Ｒ６県内市平均　９５．７％）

令和７年度　９４．１％



■市の貯金（基金）

今後予定している事業の財源に充てられるように、
資金を積み立てて準備しています。



基金残高

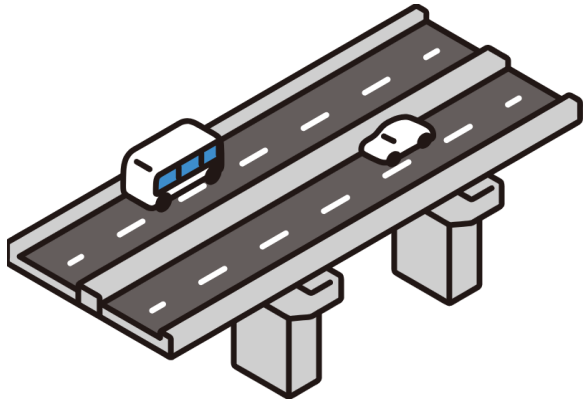
令和７年度末現在

１４８億円

※令和６年度末　１１７億円

■市の借り入れ

道路や学校などの公共施設の整備の財源として、金融機関からお金を借り入れています。



借り入れたお金は、複数年にわたって返していきます。

借入残高

令和７年度末現在

６１７億円

※令和６年度末　６２２億円

■財政健全化判断比率



	所沢市 （令和７年度）	早期健全化 基準	財政再生 基準	県内市平均 （令和６年度）
実質赤字比率 （赤字額）	―	11.25%	20.0%	―
連結赤字比率 （赤字額）	―	16.25%	30.0%	―
実質公債費比率 （借金返済額）	4.9%	25.0%	35.0%	4.9%
将来負担比率 （債務残高）	5.8%	350.0%		8.3%

■まとめ

財政健全化判断比率は基準内の水準を維持しています。



引き続き財政の健全性維持に努めてまいります。

